

ジオ太とジオ美の旅

⑨安田(あんでん)海岸

「夏の暑さが少し和らいだので、本格的に地層を学びに行こうか」とジオ太くん。「安田海岸のことね。私がつっても行きたかったところだわ」と、ジオ美ちゃんも大賛成。安田海岸には浅い小川もあるため、長靴を履いて出かけました。

2人は日本海に面した露頭が広がる安田海岸の脇本層付近に到着しました。約50万年前の地層です。露頭はここから東に鮪川層、渦西層、五里合層と続き、約40万年間の地球の歴史に触れることができます。「この海辺を800mほど歩くだけで約40万年間の地球の歴史に触れることができるのね」とジオ美ちゃんは興奮ぎみです。

地層は、泥の層から砂の層、亜炭層、貝化石の層と続いています。「泥の層は海でできた地層ね。海や陸でできた地層から当時の環境の変動がよくわかるわ」とジオ美ちゃん。ジオ太くんは火山灰の層を見つけました。「これは白頭山の火山灰や戸賀火山の火山灰だよ。どちらも40万年以上前のものだね」と、当時の環境をイメージしています。少し進むと26万年ほど前の阿蘇1火山灰(写真右下)も見つけました。

貝化石が密集したいくつかの層が見えてきました(写真右上)。ホタテガイやエゾタマキガイ、カシパンウニの化石もあります。ホタテガイやエゾタマキガイは寒流系の貝です。崖から離れて露頭を見上げると下の地層は大きく傾いていますが、上にある地層は緩傾斜です。明らかな傾斜不整合です。さらに進むとピンク色をした11万年ほど前の洞爺カルデラの火山灰も見つけました。

「大地はこんなに動いているのね」と発したジオ美ちゃんの言葉に、ジオ太くんも「地球は今も動いているんだ」と、つぶやきました。上空には、高く透き通った青空がありました。

